

フォルテピアノの特性を踏まえた 古典派ピアノ曲の演奏法

～現代ピアノで「らしく」弾くためのヒント～



小倉貴久子 (おぐらきこ)

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別榮譽賞付き首席卒業。第3回日本モーツァルト音楽コンクールピアノ部門第1位。1993年ブルージュ国際古楽コンクールアンサンブル部門第1位。95年同コンクールフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞受賞。これまでにCDを50点以上リリース。それらの多くが朝日新聞、読売新聞、毎日新聞や「レコード芸術」誌等で推薦盤や特選盤に選ばれている。著書に『ピアノの歴史』(河出書房新社)。校訂楽譜『ソナチネ音楽帳』(音楽之友社)『ジュスティニ:12のソナタ集』『バロック名曲集』(カワイ出版)。平成24年度文化庁芸術祭レコード部門(大賞)、第30回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門【独奏・独唱部門賞】、第48回 ENEOS 音楽賞洋楽部門奨励賞、令和3年度下総統一音楽賞受賞。自主企画シリーズ「小倉貴久子『フォルテピアノの世界』」を好評開催中。フォルテピアノアカデミーSACLA 主宰。東京音楽大学講師。https://www.mdf-ks.com

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派ピアノ曲が作曲された当時のピアノ(フォルテピアノ)は、現代ピアノとは違ったしきみを持っています。どのような違いがあるのでしょうか。また、これらの作品を現代ピアノで演奏する際、フォルテピアノの特性をどう活かしたらよいでしょうか。そして、古典派時代にみられた特有の奏法とは？

昨年的好评を受け、前回とは別の作品を取り上げて解説。フォルテピアノの第一人者が、さらに古典派の世界を深めます。

≪ 講座内容 ≫

- ◆作曲家がイメージしたのは「この楽器」での演奏だった！
フォルテピアノの特徴
- ◆古典派ピアノ作品を弾く・教える前に知っておきたい
古典派時代特有の奏法
- ◆演奏のレベルと説得力がアップする
フォルテピアノの特徴を現代ピアノでの演奏に活かす工夫
「ここってどう弾くべき？」のお悩みが解決するかもしれません！

●日時

2025年12月16日(火)

10:30～12:30

●会場

スター楽器 大森センター

JR京浜東北線 大森駅東口 徒歩2分

●受講料(税込)

【前売】一般 4,000円 / PTNA 会員 3,500円 /

SPTC 会員 3,000円 ※当日 各 500円増し



●教材

「ソナチネ音楽帳・古典派前期[ガルツピからJ.C.バッハへ]/
古典派後期[モーツァルトからディアベリへ] 標準版 New Edition」
(音楽之友社) ※当日会場でも販売いたします

●お問い合わせ・お申込み先

スター楽器 SPTC 事務局

TEL: 03-3755-2131 FAX: 03-3755-2129

E-mail: ikegami@stargakki.com

主催/スター楽器株式会社

後援/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

キリトリ線

スター楽器 SPTC 事務局(FAX: 03-3755-2129)行

申込日 月 日

小倉貴久子 公開講座

2025年12月16日(火)

「古典派ピアノ曲の演奏法」

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail	※復習用録画配信をご希望の方は必須		
種別	一般 ・ PTNA[無所属・()支部]会員 ・ SPTC 会員		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。